

昭和53年度研究プロジェクトについて

プロジェクトの基調

基調テーマとして「日本の社会保障の発展・向上についての基本的要件」を掲げる。わが国の社会保障は、日本の社会形態の基調に適合した組織とその運営によって支えられなくては、国民福祉の維持および向上といった所期の効果を充分発揮し難いので、国、企業、家計の機能分担の適正なあり方を以下の問題に即して究明してゆきたい。

サブタイトル：国、企業、家計（公、労、使）の機能分担

第1 家計構造を中心に国民生活の実態の現状と問題点を洗い直すことによって生活保障における家計の役割と機能を明らかにする。（部門別テーマの1, 2）

第2 生活保障における企業の役割を理論的、実証的に研究する。（部門別テーマの3）

第3 産業構造・就業構造の変化に伴って顕在化しはじめている社会保険の財政問題を制度間調整の観点から分析することによって各社会階層（各主体）ごとの特殊性を前提にして設計されている各社会保険制度をどう調整することが望ましいかを明らかにする。（部門別テーマの4）

第4 社会福祉サービスの供給主体のあり方、とくに社会福祉サービスの供給主体としての民間部門の役割と社会福祉における「措置」および対人サービスを効果的にすすめるに必要な行政組織のあり方について検討する。（部門別テーマの5, 6）

部門別テーマ

1 社会保障の生活実態におよぼす効果に関する研究（研究第1部統計調査分野）

- 世帯類型別にみた所得分布の実態と社会保障の所得再分配効果
- 高齢者世帯の家計における社会保障の役割
- 高齢者層における貧困の動向

2 ライフ・サイクル的観点からみた家計構造の変化と社会保障政策の相互調整に関する研究（研究第2部経済分析分野）

- ライフ・サイクルの変動予測と福祉ニーズ
 - 医療、年金、社会福祉政策の最適結合
- 3 生活保障における企業の役割に関する理論的、実証的研究（研究第2部経済分析分野）
- 各国における企業福祉の分析
 - 企業福祉機能の社会保障機能に対する代替と補完
 - 企業福祉の生活保障効果の分析
 - 費用負担（労使分担を含む）のあり方に関する分析
- 4 社会保障の制度構造と組織に関する国際比較研究——とくに財政調整制度について——（研究第1部制度分野）
- 疾病保険と年金制度における財政調整に関する研究
 - 各国社会保障の類型的研究
- 5 ソーシャル・アドミニストレーションの観点からみた社会福祉政策の諸問題（研究第3部社会分析分野）
- 家族におけるニード充足機能の変化に伴う社会福祉のあり方について——とくに保護・措置を中心に——
 - 社会福祉政策のエヴァリエーションズリサーチの研究
- 6 社会福祉の供給組織のあり方についての研究（研究第3部社会分析分野）
- 対人サービスの推進と行政組織の研究
 - 地域福祉と施設のあり方

研究会

プロジェクトの課題をそれぞれの専門的視点から究明するために以下の諸研究会を置き、各研究部の研究を促進する。

- 経済分析研究会
- 統計調査研究会
- 社会分析研究会
- 制度研究会

社会保障をめぐる基礎的知識を深めるとともに社会保障政策の現実的動向を把握するために所内に研究会を置く。

- 経済・社会研究会
- 政策研究会